

冬のイベント情報

Information on Winter Events

氷点下の森・氷祭りは2月9日(土)

問合先 飛驒あさひ観光協会 ☎55-3777



飛驒の里2月のイベント

【期間】 2月2日(土)～3日(日)

【時間】 午前8時30分～午後5時

【期間】 2月28日(木)まで

【時間】 2月中の土日祝日

【期間】 午後0時30分～3時

【時間】 (無くなり次第終了)

【場所】 飛驒の里(上岡本町1)

※市民の方は市内在住が確認でき

るものを窓口で提示すると入館無料です。

※期間中、竹スキーや箱ぞりなど

もお楽しみいただけます。

【問合】 飛驒民俗村

☎34-4711

第14回飛驒高山ヴィルトゥオーケストラコンサート

飛驒高山ヴィルトゥオーケストラは、飛驒に縁のある超一流の演奏家を中心となり誕生したプロフェッショナルオーケストラです。当初から指揮者を置かないスタイルで、演奏家の魂のぶつかり合いともいえる数々の名演を残されています。

今回も、飛驒高山文化芸術祭で制作した飛驒香慶弦楽器4挺がステージに華を添えます。

【期日】 3月24日(日)

【時間】 午後2時開演

【場所】 飛驒・世界生活文化センター(千島町)

【定員】 400人



【チケット】 指定席4,000円

自由席大人3,000円

学生2,000円

【販売場所】 飛驒・世界生活文化センター、市民文化会館、コサカ楽器

【問合】 飛驒・世界生活文化センター

☎37-6111

西村英久六段らを講師に 剣道講習会を開催

今年度の子ども夢創造事業は、全日本選手権優勝者の西村英久さん(熊本県警察・六段)をはじめ、剣道界を牽引する林田匡平さん(福井県教職員・五段)、山中駿さん(皇居警察・五段)をお招きし、市内小中高生対象の剣道講習会を開催します(参加募集終了)。

当日は、技術指導のほか、講師3人による剣道談義や模範演武が行われ、講習会の様子は、どなたでも自由にご覧いただけます(事前申込不要)。

【期日】 2月10日(日)

【時間】 午前9時30分～午後3時

【場所】 ビッグアリーナ(中山町)

【問合】 スポーツ推進課

☎35-3157

飛驒山脈ジオパーク構想 ジオサイト(第14章)

黒部五郎岳(中ノ俣岳)

「黒部五郎岳」は、その名が示すように越中の黒部川の流域に位置しています。そして、山頂の南側が高山市、北西部が飛驒市そして北東部が富山県立山町に属しています。ところが現在用いられている黒部五郎という名称は、なぜか信州側での呼称です。五郎は、ゴロゴロした岩場にちなんで付けられたといわれています。

なお富田禮彦編著「斐太後風土記」の中に「騎鞍嶽山脈連速」という図があります。その絵には、乗鞍・鎗穂高・笠などの左側に中俣嶽・北俣嶽が描かれています。この中俣嶽が、飛驒側での呼称なのです。五万分の一地形図にも黒部五郎岳(中ノ俣岳)と書かれています。

ちなみに越中名は「鍋山」といいます。この山の東山腹に氷河によって削り取られたカールが鍋のように見えるので名付けられたのでしょうか。ここ黒部五郎岳に限らず飛驒山脈にはカール、U字谷など数多くの氷河地形が残されて

いることでも有名です。最終氷期(ウルム氷期・七〜一万年前)に形成されたものです。

さて中ノ俣岳の山頂部分は、手取層という礫岩、砂岩といった堆積岩からできています。中生代に福井・岐阜・富山県に広がっていた手取湖(海と繋がった時代あり)の堆積物です。その一部は国府町の荒城川沿いにも見られます。その高低差は、二千三百メートル余になります。しかし、堆積したのは、少なくとも〇メートル以下であり、中ノ俣岳は、飛驒山脈の大きな隆起の物語を今に語りかけています。

(飛驒地学研究会 下畑 五夫)



スカイパークから見た黒部五郎岳(中ノ俣岳)

【問合】 飛驒山脈ジオパーク推進協議会

☎057-884-0038